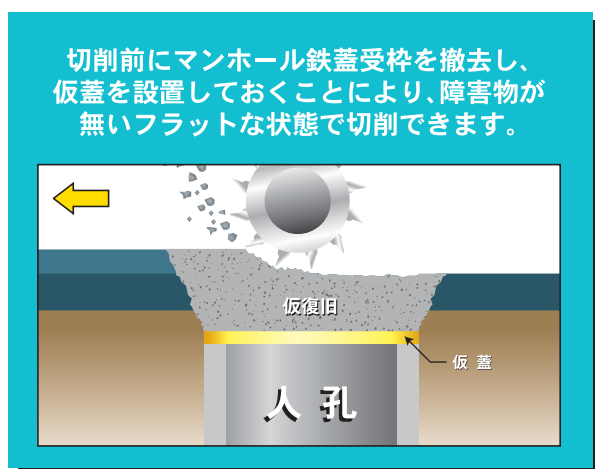


LBフラット工法

MAINTENANCE SYSTEM

LBフラット工法は・・・舗装切削オーバーレイ工事におけるマンホール鉄蓋受枠を**安全、円滑、フラット**に仕上げる工法です。また、舗装工事の**工期短縮、品質の均一化**が図れます。

LBフラット工法を採用

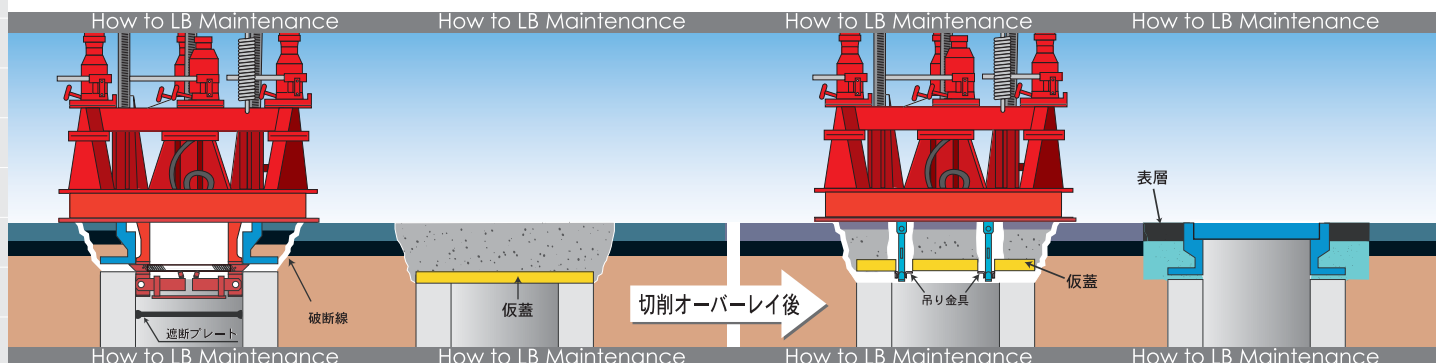


大型機械による連続施工が可能

- 舗装品質の向上と均一化
- 機械施工の合理化
- 工期短縮
- マンホール鉄蓋受枠のフラットな仕上り

- マンホール蓋周辺が人力施工になる
- ↓
- 作業中断
- ↓
- 品質のバラつき
- ↓
- 施工効率の悪化

舗装の長寿命化・維持管理費の軽減



LBフラット工法 標準施工方法

MAINTENANCE SYSTEM

第1工程 (仮蓋設置工程)

マンホール鉄蓋受枠撤去



フレームリフターでマンホール鉄蓋受枠を撤去

仮蓋の設置①



開口部清掃後、躯体及び調整リング上に仮蓋を設置

仮蓋の設置②



仮蓋の正確な位置(引照点)を取っておく。

舗装の仮復旧



舗装切削までの間、仮復旧をおこなう。

舗装の切削



舗装内に障害物がないため、大型機械による連続施工が可能。

舗装の本復旧



連続施工により、均一な品質が確保できる。

第2工程 (舗装後調整工程)

仮蓋の撤去①



吊り金具取り付け部の舗装を除去。

仮蓋の撤去②



リフター吊り金具と仮蓋を連結し、引き上げ撤去。

マンホール蓋の設置



スパイダーを用いることによって、路面とマンホール鉄蓋受枠がフラットに仕上がる。

GMモルタルの投入



表層材の施工



完成

